

小規模離島における海洋深層水を活用した農林水産業振興調査事業

<ポイント>

「島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興」の推進に向け、小規模離島における海洋深層水を活用した温度差発電（OTEC）の可能性調査結果を踏まえながら、小規模離島の地域資源を活用した農林水産業振興の可能性を調査し、今後の計画策定の参考にする。

<事業目標>

○ 関係部局間を横断したワーキングチームで検討し、海洋深層水を活用した離島地域活性化の可能性に関する調査報告書作成。

事業内容

1. 海洋深層水を活用した産業展開調査

久米島では、全国的でも数少ない海洋深層水による産業展開をしており、今後、小規模離島（町村）の横展開の参考とするための経済性やコスト計算を行う。

あわせて、海洋深層水利用学会等から、全国（または世界）における海洋深層水による産業振興の現状を調査する。



2. OTEC可能性調査を踏まえた久米島からの横展開可能性調査

上記1. 及び「小規模離島における海洋温度差発電導入可能性調査事業」の結果を参考に、OTEC導入可能性のある離島での、農林水産業等への多段利用等を調査・検討する。

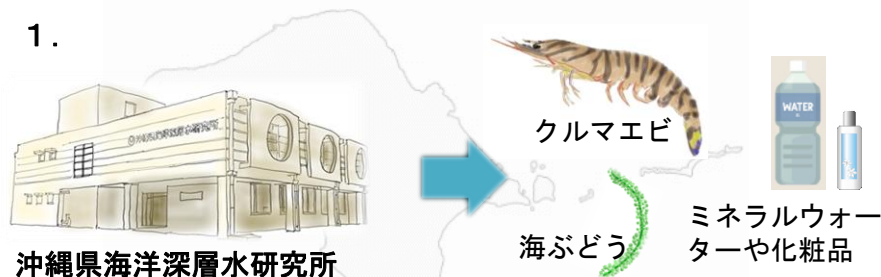
その際、関係部局間によるWTで検討し、調査報告書として取りまとめる。

年度ごとの取組及び部局の役割

	R 6 年度	R 7 年度
産業政策課	小規模離島における海洋温度差発電導入可能性調査	
農林水産総務課		1. 久米島における実態調査 2. 他の離島への横展開調査
地域・離島課		上記2課に連携、情報収集・提供等

事業イメージ

1.



沖縄県海洋深層水研究所

海洋深層水の清浄・冷温・富栄養の特徴を生かして開発した水産技術の普及と、海洋深層水及び表層水の譲渡により、企業誘致や産業振興につながっている。

横展開を検討するため、経済性やコスト計算を実施。



2.



海洋温度差発電（OTEC）導入可能性のある離島での、6次産業化も含めた、農林水産業等への多段利用等の可能性を調査。

⇒各種計画等の策定や見直しに活用し、離島産業振興につなげる。